

令和2年度 大和町立小野小学校

新型コロナウイルス感染症対応

学びの保障ガイドブック

令和2年7月20日段階

1	学びの保障プロジェクト前文	2
2	新しい生活様式 マスク、手洗い編	1 2
3	新しい生活様式 給食編	1 4
4	新しい生活様式 休み時間、運動編	1 5
5	新しい生活様式 清掃編	1 8
6	新しい生活様式 図書室編	2 1
7	子供たちの心のケアについて	2 2
8	令和2年度 新教育課程について	
	(1) タイムテーブル	2 5
9	授業改善(40分授業配慮事項)	3 9
10	その他	
	(1) 教頭だより 6/3, 6/4	4 3
	(2) 人権教育「いじめを防止するために」	4 9



準備は用意周到に
気持ちは楽観的に
子供たちと新しい生活にトライしよう！

大和町立小野小学校 保護者の皆様へ

令和2年度「小野小学校 学校再開 学びの保障」プロジェクト

6月10日 7訂
令和2年5月27日(水)

大和町立小野小学校

校長 手代木 吉之

6月12日から一斉登校がスタートします

3月2日から約3ヶ月の臨時休校期間を経て、2週間の分散登校に続いて、6月15日(月)からは給食も開始し、令和2年度の本格的な学校生活が始まります。

ただ、「新型コロナウイルスの影響を受けなかった学校生活」に戻すためには、まだまだ時間がかかることが想定され、今後感染の第2波が起こることも懸念されています。

私たち小野小学校では、これからも子供の感染予防と学習保障を第一に考え、以下のような方法で学校生活を再開させます。今後も、保護者の皆様の御協力と御理解を得ながら、取り組んでいく所存です。

以下、5月15日文部科学省から出された「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における「学びの保障」の方向性等について(通知)」に掲げられている4つの方向性について、校内で共通理解を図り、学校再開後、本校で取り組んでいく具体的な方向性についてまとめました。

また、学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル

～「学校の新しい生活様式」～(2020.5.22 Ver.1)を参考に、

821人の子供たちと58名の教職員が**新しい生活様式を考えました。**

なお、小野小学校では

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準の「レベル1」(生活圏内の状況が、感染観察都道府県に相当する感染状況である地域)のうち、レベル2にあたらないもの(新規感染者が一定程度確認されるものの、感染拡大注意都道府県の基準には達しておらず、引き続き感染状況をモニタリングしながら「新しい生活様式」を徹底する地域)と考えて、以下の対策のもと学校生活を再開します。

これまで小野小学校で大事にしてきた学校生活の約束を継続するとともに、周りの友達に対する思いやりの心を持ち、一人一人が感染予防の当事者として学校生活を送ることが

できるように、努力していきます。

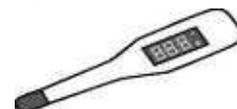
1 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上での「学びの保障」について

感染リスクを避けるために「**小野小学校における新しい学校生活の様式**」を策定します。これからの学校生活ではマスク、ハンカチかタオル、そしてティッシュは毎日の必需品です。特にハンカチは、手洗いをする機会が多くなるので、必ず2枚以上持たせてください（写真は校長の私物です）。



- (1) 登校前は、御家庭で検温し、健康観察カードに記入して提出します。

熱がある場合は無理をせず、必ず休ませてください。



- (2) 学校生活では、原則終日「マスク」を着用します。

なお、マスクについては、学校にも大和町の婦人会の皆様からいただいたものなどの予備があり、忘れた子や破損した子などのために使用します。ただし数に限りがあるので、どうかお子さんが使用するものは、各御家庭で準備するようにお願い申し上げます。



なお、暑い時期のマスクは熱中症の危険があります。適度な室温を確保するとともに、水分補給が行えるよう水筒持参に御協力ください。

体育の授業におけるマスクの着用は必要ありません。

- (3) 手洗い（・うがい）を徹底します。

特に手洗いが感染予防には一番効果的です。学校にウイルスを持ち込まない、不特定多数の人が使用しているものに触れたら手洗いをするなど、こまめに手洗いをする習慣を徹底してい



きます。そのため、ハンカチやタオルなど毎日2枚以上準備していただきますようお願い申し上げます。



なお、手洗い場での3密を避けるために、ノーチャイムで授業を進め、休み時間をずらして対応します。

【手洗いの6つのタイミング】

- ・ 咳やくしゃみ、鼻をかんだとき
- ・ 外から教室に入るとき
- ・ 共有のものを触ったとき
- ・ 掃除の後
- ・ 給食（昼食）の前後
- ・ トイレの後

(4) 学校生活全般に対面を避け、人との距離を空けて活動するように指導します。

※ 学校生活の中でも、一定の距離を維持し人と接することができるように「School distance」を設け、授業時間以外でも1～2mは離れて行動するように指導します。

※ 「新しい生活様式」では、人との間隔はできるだけ2メートル（最低1メートル）空けることを推奨しています。感染が一旦収束した地域にあっても、学校は「3つの密」となりやすい場所であることには変わりなく、可能な限り身体的距離を確保することが重要です。

(5) 教室内の2方向換気を常時行います。（エアコンが入っても換気を続けます）

(6) 学校生活では、3密を避けるために、全校規模の集会や学年規模の集会を当分の間行いません。



(7) 教室での授業は「一斉指導（黒板に向かって教師と対面する）」で行い、できるだけ隣の席との間隔を空けるけるようにします。

この点、本校では、1学級あたりの人数が最大で38名の3年生が一番密になりやすい状況にありますが、可能な限り、隣のお子さんとの席の間隔を確保します。

授業では、これまで授業で取り入れてきたペアでの学習やグループ学習などは当面行いません。

教室では、教職員もできる限り大きな声を控えます。お子さんが話をしっかり聞いて、よく考え、粘り強く学習に取り組むことができるように指導します。



【左が3年生、右が1年生の教室です】

(8) 教科指導において、以下に示したような感染症対策を講じてもなお感染の可能性の高い学習活動は行いません。

- 音楽科における狭い空間での歌唱指導や身体の接触を伴う活動
- 家庭科における調理等の実習
- 体育科における児童が密集する運動や児童が近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動
- 外国語科・外国語活動における接触や密接を伴うコミュニケーション活動
- 運動会や学習発表会、修学旅行等の児童が密集して長時間活動する学校行事

(9) 給食について

今後の学校生活の中で、最も配慮が必要な時間です。

衛生に気を付け、準備、食事、後片付けができるように、教職員総出で子供たちを見守ります。以前のようなグループを作って、会話をしながらの給食風景とは大きく変わりますが、子供たちにもその意味を一つ一つ教えながら取り組みます。

なお、感染のリスクを少しでも下げるため、当分の間は、給食の準備・後片付け・手洗いの時間を通常よりも長く確保します。

【小野小学校給食の約束】

- ① 給食当番を優先に手洗いをしっかり消毒を行います。
- ② 係の児童が、給食台を給食台用のふきんで、児童の机を児童用のふきんで水拭きします。
- ③ 担任が、水拭きした給食台と児童机の上に薄めた次亜塩素酸水を吹きかけます。
- ④ 手洗いと手指の消毒を終えた児童は、自分の机の上をペーパータオルで拭き取り、ゴミ箱に捨てます。
- ⑤ 係の児童が、給食台をペーパータオルで拭き取り、ゴミ箱へ捨てます。
- ⑥ 箸を忘れた人は、自分で持ってきた予備の割り箸で食べます。自分用の予備もない人は担任から割り箸を借ります。
- ⑦ 机はグループにせず、前を向いたまま食べます。
- ⑧ 配膳や盛付をする担当は、手洗いが終わったら給食着を着用し、食器を持つ手にビニール手袋を付けます。その他の人は着席して待ちます。給食当番は、最後に自分の給食を自分の机に運びます。
- ⑨ 「おかわり（増やす）」は「いただきます」の前のみ、担任が座席を回って行います。食べ終わってからの「おかわり」や、欠席した友達の牛乳やデザートをジャンケンでもらうことはしません。
- ⑩ 「いただきます」をしたら、マスクを外して、ティッシュで包み机の上に置きます。配られたものを「減らす」ことはしません。食べきれないものは残します。
- ⑪ 給食当番（マスク着用）が自分の分の食器の後片付けを終えて担当の場所について後、各自がマスクを付けて食器の後片付けを行います。牛乳パックは、各クラスに配付されたビニール袋に入れます。まとめて入れる必要はありません。混雑しないように気を付けます。給食当番はおぼんにゴミがないか確認し、ある場合はごみを取り除きます。
- ⑫ 自分の分の片付けが終わったら、水飲み場で手洗いをします。
- ⑬ 早く手洗いが終わった人は、先生の指示があるまで静かに待ちます。その後全体で「ごちそうさま」をします。



- ⑭ 全員が食器を下げた後、当番と担任で汚れを拭き取り、担任が台車を移動させます。

(11) 休み時間について（ノーチャイム）

3密を避けるため、これまで通り全校で一斉に休み時間にすることはできません。そのため、これまでのようにチャイムは鳴らず、一人一人が時計を見て行動するようになります。慣れるまで大変ですが、この機会に時計を見て行動できるようになりましょう。



【写真は校舎中央の時計です】

- ① 休み時間でも「密」にならないような生活の仕方や約束を子供たちとの生活の中で作っていきます。
- ② 屋外（グラウンド）での遊びは、基本的に自由です。ただし、教室に戻る前には、必ず手洗い（・うがい）をします。
- ③ 図書室も換気を十分に行います。「会話は極力しない」「個人での利用が基本」を意識して利用してください。本の貸出、返却はまだできませんので、閲覧のみとなります。

(12) 清掃について

- ・ 地区別登校期間は、児童による清掃は行いません。児童が下校後、学校職員が校内の清掃と消毒を行います。
- ・ 新しい学校生活様式への適応期（40分授業*詳しくは後述）の清掃は、以下のように実施します。

※ 事前に担任が、児童が共有するほうきやちりとり等を消毒しておきます。

- ① はじめのあいさつをします。
- ② 窓を開けます。

- ③ 椅子を机の上に乗せて、後ろに運びます。
 - ④ ほうきで床を掃きます（机運びの児童は両サイドで待機します）。
 - * 基本的に床は拭きません。
 - ⑤ ほうき隊は廊下へ移動して廊下を掃きます。
 - ⑥ 机を並べ、整頓します。
 - ⑦ 机の上、棚の上を水拭きします。
 - ⑧ ごみ箱のごみをごみ捨て場に捨てます。
 - * 毎日捨てに行くので、袋は基本的に小さいサイズを使います。
 - ⑨ 用具の手入れ（ほうきのほこりをブラシで取る）と用具の整頓をします。
 - ⑩手を洗います。
 - ⑩ 教室に戻り反省会をします。
 - ⑪ 終わりのあいさつをします。
- ・ 学習充実期（45分授業）の清掃は、床拭きを取り入れたこれまでの清掃の流れに戻します。ただし、床を拭く雑巾は共有させず、各自机等に掛けて保管したものを使わせません。

2 子供たちの「学びの保障」のための教育活動について

- (1) 新教育課程を編成し、子供たちの教育活動をリ・スタートします。
 - ① 3月までを3期に分けて計画的に学習に取り組みます。
 - ・ 6月1日～8月28日までを、新しい学校生活様式への適応期と考えます。
 - 【分散登校期間の予定】
 - ※ 6月2日（火）から5日（金）までは、前学年の復習を中心に授業を進めません。
 - ※ 6月8日（月）から12日（金）までは、休校中の課題の確認や新学年の学習についてのオリエンテーション（学習のスタート）を中心に授業を進めます。
 - ※ 6月12日（金）は今年度初めて全校児童が一斉に登校する日になります。全員で担任の先生と顔を合わせ、「学級開き」を行います。自分のめあてを発表し、みんなで話し合っってどんな学級にしたいか、考えましょう。また、感染症の影響で、学校生活の仕方が大きく変わります。「小野小学校の新しい生活様式」を

みんなで確認していきます。

※ この期間の授業は、全学年40分間で行います。

- 8月31日～12月25日を、学習充実期と考えます。

※ この期間の授業は、全学年45分間に戻します。

※ この期間予定されていた行事の実施の有無については現段階で未定です。

- 1月8日～2月28日を学習発展期と考えます。(冬休みの間の登校日については、今後の学習の進捗状況から判断し、後日お知らせいたします。)

- 3月1日～3月31日を補充・深化期と考えます。

※ なお、令和3年3月については、現段階では、白紙にしています。万が一感染症の第2波がきたり、毎年流行するインフルエンザの影響で授業が行えなかったりした場合の調整ができるように備えます。

- ② 指導内容の充実及び指導時数の確保のために、8月28日まで全学年で40分授業を行います。

※ 45分授業の場合、週30コマ（4年生以上の標準）で計算すると

$$45分 \times 30コマ = 1350分$$

※ 週あたり1350分を40分で割ると

$$1350分 \div 40分 = 33.75コマ$$

となり、計算上は週33コマ、通常よりも3コマ多く時数を確保することが可能です。今後、時間割を再度組み替え、各学年で対応します。

※ ただし、このことは「時数確保」を目的とするのではなく、学習指導要領に掲げられている各教科・及び各学年の目標をより効果的に達成することができるように、授業改善に取り組むことがねらいです。また、これまでよりも、休み時間に手洗いをする時間を確保する必要があるため、少しでも余裕をもって授業に入ることができるようにしてみました。

- ③ 令和2年度は、全学年、国語と算数に重点化して教育課程を再編成します。

- ④ 6年生については、夏季休暇の短縮以外にも可能な限り授業時数の確保に努力し、学習指導要領に示された指導内容を全て終えるように教育課程を再編成します。

- ⑤ 1年生から5年生までは、子供たちの負担過重にならないように、教育課程を編成し、令和3年度又は令和4年度までの教育課程を見通して検討を行い、学習指導要領において指導する学年が規定されている内容を含め、教育課程を編成します。

⑥ 学校教育が協働的な学び合いの中で行われる特質を持つことに鑑み、制約や条件がある中ではありますが、学校行事等も含めた学校教育ならではの学びを大事にしながらか教育活動を進めていきます。

- ・ 縦割り活動の実施，委員会活動の実施，クラブ活動の一部実施等。
- ・ 学校行事（運動会中止，6年修学旅行 11月に実施，5年花山 9月に実施）
※ 学校行事については，学校生活にリズムとテンポを与え，子供たちの学校生活の中で欠くことのできないものと考えております。ただし，現状の感染状況や本校の置かれている状況を踏まえると，全校規模のものや，100名を超える学年単位のものについては，現段階では従来のスタイルでの実施は難しい状況です。現段階では「授業優先」で対応していく予定ですが，今後の状況を踏まえながら，実施の可能性を探っていきたいと思います。

⑦ 学校の授業において行う学習活動を，教師と児童生徒の関わり合いや児童生徒同士の関わり合いが特に重要な学習への動機付けや協働学習，学校でしか実施できない実習等に重点化して行います。

⑧ 7月21日～8月7日，8月20日～8月25日までは，「特別時程（小野小サマータイム）」で授業を行います。小野小サマータイムは以下のような時程です。

- ・ 午前5時間授業
- ・ 弁当・給食無し
- ・ 8時00分始業，12時15分下校

この期間は，町給食センターの改修工事が予定されており，給食を提供できません。また，真夏の暑い時期に弁当を持参させることは食品の衛生管理の面から避けるべきと考え，昼食無しの午前5時間の時程で授業を行います。

⑨ 8月28日から，毎週金曜日は特別な「金曜時程」で授業を行います。「金曜時程」は以下のような時程です。

- ・ 5，6年生は7時間授業，4年生は6時間授業（クラブ活動がある日のみ7時間授業），1～3年生は5時間授業
- ・ 8時00分始業，下校14時5分（5時間授業の学年），下校14時50分（6時間授業の学年），下校15時35分（7時間授業の学年）

5，6年生は学習内容が多いため，授業時間を多く設定する必要があります。その中には委員会活動やクラブ活動等も含まれます。委員会活動やクラブ活動では，

下の学年の担任も含めた全校の職員が、それぞれ担当として指導に当たります。7時間授業のない下の学年も同じ時程で授業を行う必要があるため、「金曜時程」を設定して授業を行います。

(2) ICTの活用による学びの保障

- ① 各御家庭におけるインターネット通信等のICT環境を早急に把握させていただき、今後のICT活用に向けて条件整備を行います。
- ② 大和町教育委員会と連携し、早期の端末の確保に努めます。
- ③ これまで続けてきたGoogleでの職員研修を継続し、GoogleClassroomやGoogleMeetを活用します。

なお、学校再開後の生活に不安をもつ保護者の皆様とはいつでも個別に相談を行い、対応させていただきます。お気軽に担当まで御連絡願います。

【お問い合わせ先】

大和町立小野小学校

- ・感染症対策全般（家庭への電話、メール配信等）に関すること

教頭 徳田 修

教頭 安藤 真由美

- ・子供たちの心と体の健康に関すること

養護教諭 横山 聖子

- ・児童の登下校や安全教育、ホームページに関すること

主幹 島貫 達也

- ・地区別登校や教育課程（授業、行事、オンライン授業）に関わること

教諭（教務主任）堀田 理永

- ・給食指導に関すること

講師（給食担当）高階 真琴

- ・清掃指導に関すること

教諭（保健主事）遠藤 由紀子

「小野小・マスクの約束」です。
今日から指導していきましょう。
指導しながら改善案を集めていきます。

小野っ子 マスクの約束

6 / 2 版 監修:保健部

- **いつもマスクをつけて生活します。**
食事中や、体育の運動中は外します。
暑くて具合が悪くなってきたら、すぐ先生に言いきましょう。
- **予備のマスクをランドセルに入れておきます。**
マスクはビニール袋に入れておきます。
- **マスクの表面に名前を書きます。**
相手から見えるように、ネームペンではっきりと書きます。
手作りのマスクにも名前をはっきりと書きます。名前を刺しゅうしてもいいです。
- **給食の時間は、外したマスクをティッシュにはさみ、机の上におきます。**風で落ちないように、給食のおぼんで押さえるなど工夫しましょう。
ティッシュのかわりに、マスク用のハンカチやケースを用意して使ってもいいです。そのハンカチやケースも毎日洗ったり消毒したりしましょう。
- **体育の時間は、間隔を取ってからマスクを外し、内向きに二つ折りにしてポケットに入れます。**
体育があった週末は、必ず体操着を持ち帰り、洗ってきましょう。
- **教室でマスクを落としたら、すぐに予備のマスクをつけま**す。落ちたマスクは自分で拾い、ビニール袋へ入れて持ち帰りましょ。う。
ビニール袋は予備のマスクを入れていた物を使います。もしビニール袋がなければ、担任の先生からもらいましょう。
- **外でマスクを落としたら、落ちたマスクを自分で拾ってか**ら、保健室に行行ってマスクをもらいます。
保健室でビニール袋ももらって、落ちたマスクを入れて、家に持ち帰ります。



手洗いの6つのタイミング

外から教室に入るとき



咳やくしゃみ、鼻を
かんだとき



給食（昼
食）の前後



掃除の後



トイレの後



共有のものを
触ったとき



【小野小学校学校給食の約束】

6 / 10 版 給食部

- ①給食当番を優先に手洗いと消毒をしっかりと行います。
- ②係の児童が、給食台は給食台用のふきんで、児童の机は児童机用のふきんで水拭きします。
- ③担任は、水拭きした給食台と児童机の上に**アルコールを吹きかけます**。
- ④手洗いと消毒を終えた児童は、自分の席に座り静かに待ちます。
- ⑤箸を忘れた人は、自分で持ってきた予備の割り箸で食べます。自分用の予備もない場合は、担任の先生から割り箸を借ります。
- ⑥机は一斉指導のまま、黒板を向いた状態です。
- ⑦配膳・盛付をする担当は、手洗いが終わったら給食着を着用し、食器を持つ手にビニール手袋をつけます。その他の人は着席して待ちます。**給食当番は最後に自分の給食を自分で机に持って行きます**。
- ⑧「おかわり（ふやす）」の盛付けは、「いただきます」の前のみ、先生が行います。食べ終わってからの「おかわり」や欠席した友だちの牛乳やデザートなどをジャンケンでもらうのは禁止です。
- ⑨「いただきます」をしたらマスクを外してティッシュで包み机の上に置きます。配られたものを「減らす」のは禁止です。食べきれないものは残します。
- ⑩給食当番（マスクを着用）が食器の片付けを終えて担当の場所についた後、各自がマスクを付け食器の片付けを行います。牛乳パックは、各クラスに配付されたビニール袋に入れます（まとめて入れる必要はありません）。また、混雑しないよう気をつけます。給食当番はおぼんの上にゴミがないかチェックして、ある場合はその場でゴミを取り除きます。
- ⑪片付け完了後は、各自ですみやかに水飲み場へ行き、手洗いを行います。
- ⑫早く手洗いを済ませた人は、先生の指示があるまで座って静かに待ちます。その後「ごちそうさま」を行います。
- ⑬全員が食器を下げた後、当番と先生で汚れを拭き取り、**担任が**台車を移動させて給食活動は終了となります。

※ 給食開始前、これまでは1～3年のみ教室前に台車を移動していましたが、配膳室への入室制限及び人の往来を避けるため、4～6年も教室前に台車を移動させておきます。

※ 給食着は、配膳時のみ着用。1週間同じ人が着用すること、持ち帰り洗濯をしてアイロンをかける(消毒の効果もあるため)ことを守ってください。保護者に洗濯+アイロンがけの啓発をお願いします。

※ 上記の対応をするために、衛生管理費の予算を越えて消耗品の購入をしなければなりません。

※ 基本的に箸を毎日持ってくることは必須ですが、箸を忘れたときのために割り箸を個人で用意しておく。

※ **児童机用のぞうきんは、清拭使用→給食中はバケツに入れて保管→給食後に給食委員会がバケツから回収→家庭科室で塩素浸け置き→乾燥→次の日の放課後に各担任の机上へ** というような流れを考えています。

まとめて浸け置きするため、ぞうきんにはクラス名と「給食用」等児童の机を拭くものだとわかるように書いておいてください。

※ 給食台用カウンタークロスは使用後に水洗いし、給食台の取っ手などを利用して乾燥させてください。

1 運動時のマスク

- 体育の授業中は、マスクを着用しなくてよい。
 - ・ 児童の間に十分な距離を必ず確保すること。
 - ※ 運動量が少なく、呼吸が大変でなければマスクを着用してもよい。
 - ※ 児童本人や家庭の希望があれば、体育の授業中にマスクを着用してもよい。
 - 遊びの時は、マスクを着用する。
 - ・ 動き回るため、安全な距離を保つことが難しいため。
 - ・ 呼吸の回数が多くなるため。
- ※ 熱中症にならないように、水分補給を含めた休憩を小まめに入れる。

2 体育の授業について

(1) 体育館や校庭での体育の実施

体育館・・・1クラスまで

※ドアや窓を開けて換気しながら、授業を実施。

校庭・・・2クラスまで

(2) 指導計画

運動	変更前	変更後
鉄棒を使った運動	6月実施	10月実施
跳び箱を使った運動	12月実施	11月下旬実施
マットを使った運動	8・9月実施	12月上旬実施
プールでの運動	7・8・9月実施	実施しない
新体力テスト	6月	報告する必要がなければ実施しない

上表をもとに、単元の入替えを行い、各学年で時数を削減して指導に当たる。また、下表の運動にはそれぞれ留意すべき点がある。

運動	留意点
体づくり運動系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人で取り組める運動を選択する。 ・ 縄跳び運動 ・ (持久走的な) ジョギング→3分間走 など ・ 互いの間隔を取るなど、児童が密集しないような活動形態を考慮する。 ・ 用具は共用しないことが望ましい。
陸上運動系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いの間隔を取ることで、用具の共用が生じない短距離、ハードル走、走り幅跳びは可能。 ・ リレー・・・バトンを使用したら、授業後に昇降口前水飲み場で手洗い、うがいを する。授業後、バトンを消毒する。 (消毒液は、消毒する直前に保健室から借りる。)
ボール運動系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が密集したり、近距離に寄ったり、接触したりすることが考えられるので、実施しない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人的技能の習得（バスケットボールのドリブルやシュート、ソフトバレーボールの直上パスなど）は、場の設定や運動の内容を考慮した上で実施することは可能。 ・ 授業後、使用したボールは消毒する。 （消毒液は、消毒する直前に保健室から借りる。） ・ 授業後には、必ず手洗い、うがいをする。 校庭・・・昇降口前水飲み場 体育館・・・体育館トイレ前水飲み場
おに遊び系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必ず手でタッチをする。（抱き着いたり、体をぶつけたりしてはいけない） ・ タッチは衣服の上のみにする。（地肌や顔、頭にはタッチしてはいけない） ・ 授業後には、必ず手洗い、うがいをする。 校庭・・・昇降口前水飲み場 体育館・・・体育館トイレ前水飲み場
表現運動系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いの間隔を取るにより、個人で踊る内容であれば可能。

（３） １単位時間内の指導の流れ

- 臨時休業に伴う運動不足が考えられるので、準備運動は念入りに行う。また、授業中や授業後、けがの有無などについても十分に確認する。
- 児童同士の間隔を保ちつつ運動量を確保するために、授業の前半で準備運動の他に10～20分間で下記の運動に取り組むことにする。

なわとび

- ・ 持久とび ・ 短なわで技に挑戦 など

リズムダンスなど

- ・ みやぎっ子!元気アップエクササイズ ・ よさこい ・ 南中ソーラン ・ やっちょれ
- ・ ハンドクラップ ・ ラジオ体操 ・ パプリカ など

※ 体育館のステージのスクリーンにプロジェクターを使って、映像を投影したい。

体力・運動能力調査の種目

- ・ 反復横とび ・ 20mシャトルラン(持久走) ・ 体ほぐしの運動 ・ 立ち幅跳び

（４） 校庭や体育館への移動の際のマスク着用・授業中のマスクの保管

- 校庭や体育館への移動の際も、マスクを着用する。
- 授業中のマスクの保管方法について、迷っています。後ほど、先生方に案を提示してご意見をいただきたいと考えています。

3 外遊びについて

（１） 校庭の使い方（裏面を参照）

（２） 各学級のボール

一度体育部で回収する。サッカーゴールでのストラックアウトで使用するボールは中央昇降口に集めて置く。各学級のボールは回収するため、休み時間等のドッジボールはできなくなる。

校庭の使い方

先生方の車があるから入りません

校庭のロープの周り
ロープに沿ってたくさん走ろう

砂場 OK
立ち幅跳びにチャレンジ

遊具の使用 OK
遊ぶ前と遊んだ後は、必ず手洗い、うがい

鉄棒(大)

ジャングルジム

すべり台

ブランコ

50mのロープ
友達とかけっこができる

砂場

シーソー

雲梯

鉄棒(小)

プール

サッカーゴール
昇降口にあるボールを借りて
ストラックアウトにチャレンジ

サッカー
ゴール

遊具の使用 OK
遊ぶ前と遊んだ後は、必ず手洗い、うがい

校舎の近くの空いている所
なわとびの練習ができる

校舎

校庭の空いているところでのおにごっこ OK

- ・必ず手でタッチをする。(抱き着いたり、体をぶついたりしてはいけない)
- ・タッチは衣服の上のみにする。(地肌や顔、頭にはタッチしてはいけない)
- ・遊んだ後には、必ず手洗い、うがいをする。

体育館

R2年度 コロナ対応清掃(案)

文責:保健部

○ 地区別登校期間の清掃について

- ・地区別登校期間は児童による清掃は行いません。
- ・児童が下校後、清掃・消毒計画(先日配付)に沿って担任や学年等で校内の清掃と消毒行います。

○ 6/2～8/28 (新しい学校生活様式への適応期40分授業) の清掃について

【教室の場合】

これまでの小野小の清掃の流れ	新しい学校生活様式へ対応した清掃の流れ
<p>① はじめのあいさつをする。(12:50)</p> <p>② 窓を開ける。</p> <p>③ いすを机の上に乗せて、後ろに運ぶ。</p> <p>④ ほうきではく。</p> <p>⑤ すぐその後を雑巾隊が乾拭きする。</p> <p>⑥ 机を前に運び、④⑤を繰り返す。</p> <p>⑦ 机を並べ、整頓する</p> <p>⑧ 机の上、棚の上を水拭きする。</p> <p>⑨ ごみ箱が一杯になったら、ごみ捨て場に捨てる。</p> <p>⑩ 用具の手入れ(ほうきのほこりをブラシで取る)と用具の整頓をする。</p> <p>⑪ 反省会をする。</p> <p>⑫ 終わりのあいさつをする。(13:10)</p>	<p>掃除の前に担任がすること →<u>児童が共有するほうきやちりとり等を消毒しておく</u></p> <p>① はじめのあいさつをする。()</p> <p>② 窓を開ける。</p> <p>③ 椅子を机の上に乗せて、後ろに運ぶ。</p> <p>④ ほうきではく。 <u>(机運びの児童は両サイドで待機)</u></p> <p>⑤ <u>ほうき隊は廊下へ移動して廊下をはく。</u></p> <p>⑥ 机を並べ、整頓する。</p> <p>⑦ 机の上、棚の上を水拭きする。</p> <p>⑧ <u>ごみ箱のごみをごみ捨て場に捨てる。</u></p> <p><u>* 毎日捨てに行くので袋は基本的に小さいサイズを使う。</u></p> <p>⑨ 用具の手入れ(ほうきのほこりをブラシで取る)と用具の整頓をする。</p> <p>⑩ <u>手を洗う。</u></p> <p>⑪ <u>教室に戻り反省会をする。</u></p> <p>⑫ 終わりのあいさつをする。()</p> <p><u>*基本的に床は拭かない。 (簡単掃除のイメージ)</u></p> <p><u>*ほうきではく、机を運ぶ、机や棚を拭く児童などの 分担は学級の実態に応じて分担する。</u></p>



○ 8/28以降 (学習充実期 45分授業) の清掃について

これまでの清掃の流れに戻す。ただし、床を拭く雑巾は共有しない。(各自机等に掛けて保管)

○ 6/2～8/28（新しい学校生活様式への適応期40分授業）の清掃について

【トイレ・特別教室・階段等等】

教室、廊下、昇降口以外の場所は児童に掃除させません。清掃の時間になったら、担当(4月に配付した割り当てを参照)が担当場所に行き、その時間でできる限りの掃除をします。担当場所に行くのが難しいときは可能なら学年間で調整してください。それも難しいときは相談してください。

こんなイメージです

例) ☆菅原先生の場合(担当:B階段と理科室)

掃除の時間→B階段に行き、ごみを掃いたり階段の手すりの消毒をしたりする。

理科室が汚れていたら整える。

☆高階先生の場合(担当:児童用昇降口・西側犬走り)

掃除の時間→児童用昇降口に行き、担当児童と一緒に昇降口を掃く。

☆田代先生の場合(担当:4-1の教室と3階西トイレ)

掃除の時間→教室で掃除の指導

トイレの掃除が難しい……。困ったな……。

少人数の掃除はすぐ終わるので、私がトイレもやりますよ。(by 安達先生)

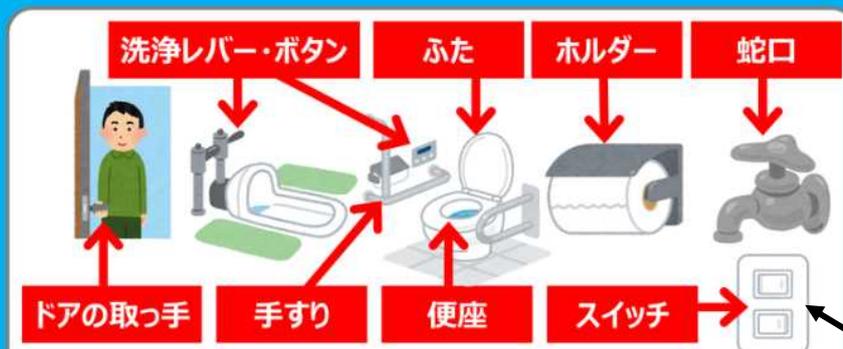


* 放課後の教室やトイレ等の消毒は引き続き学年でお願いします。

* 8/28以降(学習充実期 45分授業)の特別教室等の清掃については、様子を見て考えます……。

新型コロナウイルス感染症予防 (トイレ編)

4. トイレ消毒の8箇所



特に多くの児童生徒等が手を触れる箇所は、適宜、消毒液（消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム等）を使用して清掃を行うなどして環境衛生を良好に保つ。

作成 NPO法人日本トイレ研究所 <http://toilet-magazine.jp/>
 参考 新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン（令和2年3月24日）文部科学省

基本トイレの窓は開けたままにしておく。児童が下校し消毒を終えたら閉める。

新型コロナウイルス感染症予防 (トイレ編)

5. トイレも換気が大事



換気の悪い密閉空間にしないため、こまめな換気を実施する（可能であれば2方向の窓を同時に開ける）。換気扇やガラリなどにホコリが詰まっていると空気が流れなくなるので清掃する。

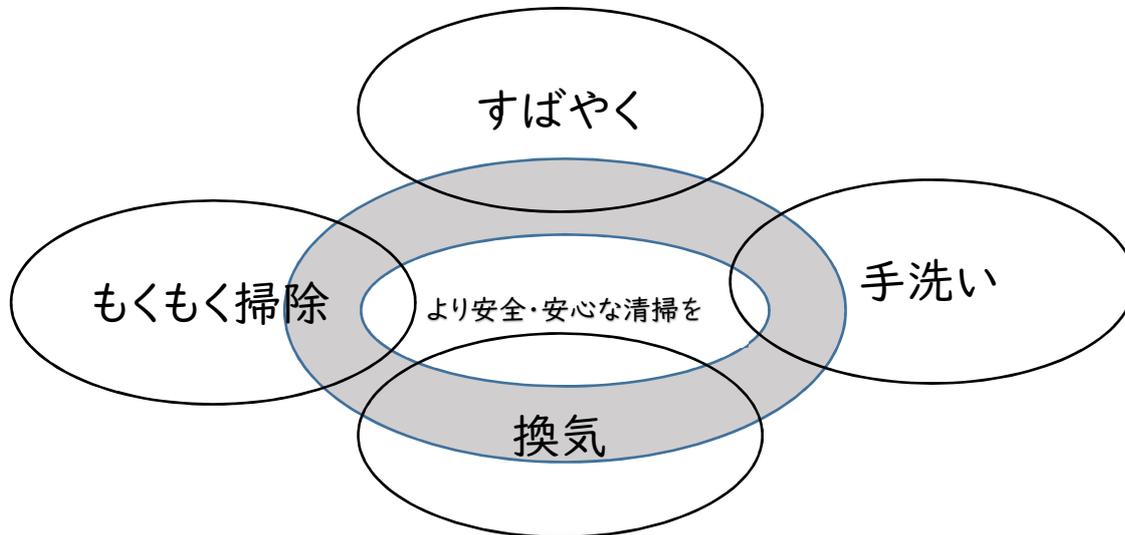
作成 NPO法人日本トイレ研究所 <http://toilet-magazine.jp/>
 参考 新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン（令和2年3月24日）文部科学省

児童は×

* 「児童は、トイレ・水飲み場の電気のスイッチは触らない」という指導もお願いします。

★ コロナ対応の清掃について考えてみました。改善点等ご意見をお願いします。

★ 小野小学校の掃除は「もくもく掃除」です。まずはこれを徹底させましょう。さらに、清掃中の換気と、清掃後の「手洗い」の徹底をお願いします。手洗いの時間も確保するために、「すばやく」行うことも重要です。



学校図書館の再開について

図書部

学校図書館の再開については以下のように考えています。ご意見、ご希望等ありましたらお知らせください。

6 / 2 (火) ~ 6 / 1 2 (金) 図書返却期間

- ・前年度末に返却できなかった本を回収します。学級でまとめて回収し、担任の先生が図書室に届けてください。
- ・児童は図書室に入りません。6月中は図書室で授業は行いません。(清掃も)

6 / 1 5 (月) ~ 特別貸し出し期間

- ・学年毎にブックトラックに本を積んで配付します。貸し出しは学級で行ってください。図書カードによるチェックは行いません。返却はブックトラックをお願いします。
- ・児童は図書室に入りません。

7月以降

- ・当面の間、貸し出しは授業時間のみとします。
- ・図書室への入室者は20名程度までにします。教室から図書室までの往復は担任が引率してください。
- ・図書カードによるチェックは行いません。所定の用紙に氏名と借りた本の番号を記入してください。
- ・返却は廊下のブックトラックを利用します。

サービスカウンターについて

- ・サービスカウンターの定期的な拭き取り消毒を行います。消毒は、一日に2~3回は必要であり、開館前又は閉館後は必ず行います。

閲覧スペース、学習スペースについて

- ・当面の間、図書室内の椅子等は片付けています。
- ・常時換気します
- ・第二図書室は施錠します。本を利用したいときは図書支援員まで声を掛けてください。

図書ボランティアについて

- ・図書ボランティアの再開は、他のボランティアの活動に合わせます。

- ◆ こども達をとりまく環境の変化
 - ・学校の休業・行動の制約
 - ・家庭の経済の問題、家族の仕事の変化
 - ・周囲の大人たちの不安

- ・1年生 → ・学校という新しい環境
 2～6年生 → ・いつもと違う新学年
- ・こどもをサポートする周囲の大人の戸惑いと混乱
- ◆ 社会の変化、混乱
 - ・先の見通しが困難
 - ・目に見えないウイルス
 - ・命に関わる問題だが実感がわからない？目に見えない恐怖？
 - ・状況が刻々と変化、専門家も先がわからない

- ◆ 安全な対応を整える
 - ・換気・消毒・手洗い・体調チェック等
- ◆ 情報を与える
 - ・コロナウイルスについての知識
 - ・学校行事など先の見通しを伝える
 - ・心配なことがあったら相談しよう
- ◆ こどもの様子を観察する
 - ・心配な様子があれば更に観察する、話を聴く ※ このあたりでSCに情報を下さると
 後の対応がスムーズに行きやすいです
 - ・職員間や保護者と共有する
 - ・それでも心配なら相談につなげる → SC？外部機関？
 - ・学校が休みでストレスが大きくなる子もいれば、ストレスがなくなった子もいる

- ◆ 全体的な心構えとして…
 - ・非日常の中での日常の再開
 - ・こども達にとってというよりむしろ大人にとって初めての経験
 - ・刻々と状況が変化、先の見通しが立たない
 - ・度重なる計画の練り直し、徒労に終わる作業
 - ・迫られる決断、結果論による厳しい評価？
 - ・自分自身のストレスに気づく — 個人差が大きい
 - ・上手くいかなくて当たり前、運が良ければスムーズに行くだろうという位の心づもりで
 - ・最初からアクセル全開でいかない、こども達がついていけるように
 (段階的な登校再開で安心して登校できるのでは)
 - ・これを機に業務や価値観の見直しができる？
 - ・焦らず徐々に新しい学年の開始を
 - ・先生方ご自身の健康に気をつけて下さい

◇新型コロナウイルス感染症に伴う、再登校、分散登校時の対応について◇

令和2年3月4日
北海道臨床心理士会 教育領域委員会
(スクールカウンセラー担当委員会)

予期せぬ休校、活動範囲の制限、感染の不安など、見通しの立たない状況の中での再登校、分散登校に向けて、対応のポイントについてまとめてみました。ご参考にさせていただけたらと思います。

子ども達に安心感を与えること、つながりを確認する事と共に、心理的な問題が起こっている又は起こりそうな子ども達をできる限り見出し、早期に保護者を含めた支援が開始できるようにしたいものです。

(1) 再会を喜び、お互いをねぎらいましょう。

不安やストレスの解消には、社会的な関わりを確かめ合うことが有効とされています。まずは、子ども達がこの不自由な状況の中でよく頑張っていることを、褒めてあげてください。

ヒント：嬉しさのあまり、普段より騒がしくなったり、羽目を外す子ども達を厳しく叱ることなく、優しく声掛けをしてください。せっかくの再会をお説教と指導で終わらないように心に留めましょう。

(2) 健康観察を中心に子ども達の様子をよく確認してください。

登校時の様子も含め、いつもの観察を丁寧に行ってください。睡眠、食欲、体調などを確認してください。過覚醒反応（眠れない、イライラする、集中できない、落ちつかない）や身体症状があるかもしれませんが、普段と異なる状況であることを身体が察知して起こっている反応であることを共有してください。

ヒント：表情、姿勢、反応の速度、身だしなみ等を以前と比べてみてください。辛い時には我慢せずに親や先生に相談するように伝えてください。みんなで、ストレス発散方法を出し合っても良いでしょう。観察は、複数の教員で行う方が良い場合もありますし、担任とクラスメートで行う方が良い場合もあります。

(3) 再度正しい情報を伝え（いつものインフルエンザの対応で良いこと）、デマ等を否定し、現在行っている行動の意味を皆で共有しましょう。

ヒント：現在の行動制限などの我慢や感染予防行動が、日本のそして世界的な感染を最小限に抑えるための重要で賢明な行いであることを理解できると、自己効力感をもって、現在の不自由で不安な生活に立ち向かうことができるかもしれません。

(4) 差別や攻撃が起こらないように予防しておきましょう。

地域や身近に感染者が出た場合に、憶測で噂をしたり、差別的に扱うことがないように理解し合っておきましょう。不安やストレスがたまった時は誰かを責めたり攻撃したくなりがちです。

ヒント：感染したのは不運なことで、完治した後は今までと同じように接する事、親切に対応する事を確認しておきましょう。それぞれが、自分がその立場だったら、どうしてほしいかを考えてみましょう。

(5) 保護者と積極的、継続的にコンタクトを取りましょう。

特に、配慮を要するお子さん、さまざまな事情を抱えている家庭、家族の関係が上手くいっていない家庭においては、家の中で共にいる時間が長いほど、負の影響が出てしまいます。それは、最も弱い立場の子どもの心身に直接的に作用してしまいます。精神症状や虐待の予防の観点からも、そのような家族を孤立させないように、必要があれば（介入の緊急度が高ければ）、他の機関の協力も得て支援を開始してください。

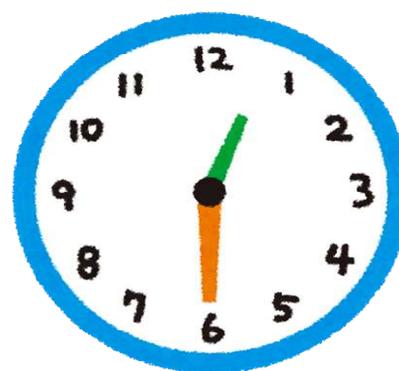
ヒント：大がかりなことでもなくても、電話で子どもや保護者と話をする機会を定期的に持つだけで、孤立感が緩和されます。できれば、次いつ連絡をするか伝えておくと、安心感や信頼感は深まります。学校全体で、個別の対応が必要な家庭を把握し、担任だけではなく養護教諭や部活動の顧問、スクールカウンセラーなどと協力し合って支援しましょう。

<ストレスの発散になる活動のヒント>

不安やイライラは交感神経系を活性化させます。しかし、軽い運動や楽しい活動を仲間と行うことは、リラックスし不安を和らげる副交感神経系を刺激し、過度な交感神経系の興奮をおさめます。登校日に、時間や場所の確保が可能であれば、大縄跳び、風船バレー、だるまさんが転んだ、フルーツバスケット等々、運動が苦手な子どもも楽しめる活動を行えると、学校ならではの良いストレス発散になると思います。終了時には、できるだけ興奮状態を下げた方が良いので、みんなでリラクゼーションや呼吸法を行うことをお勧めします。

R.2 小野小学校

今年限りの特別時程いろいろ



R2. 手洗い15分時程**6/12 (金)**

						金
8:10~	(15分)	朝のあいさつ・健康観察				
8:25~	(15分)	P U T				
8:40~	(10分)	朝の会				
8:50~ 9:30	(40分)					1
9:35~10:15	(40分)					2
~10:30	(15分)	業 間				
~10:45	(15分)	手洗い				
10:45~11:25	(40分)					3
11:30~12:10	(40分)					4
~12:30	(20分)	手洗い・弁当準備				
~12:45	(15分)	食べる				
~13:00	(15分)	片付け・手洗い				
~13:10	(10分)	帰りの会				

R2. 手洗い15分時程

6/15(月)
~ 6/24(水)

		月	火	水	木	金
8:10~	(15分)	朝のあいさつ・健康観察				
8:25~	(15分)	P U T				
8:40~	(10分)	朝の会				
8:50~ 9:30	(40分)	1	1	1	1	1
9:35~ 10:15	(40分)	2	2	2	2	2
~ 10:30	(15分)	業 間				
~ 10:45	(15分)	手洗い				
10:45~ 11:25	(40分)	3	3	3	3	3
11:30~ 12:10	(40分)	4	4	4	4	4
~ 12:40	(30分)	手洗い・給食準備				
~ 12:55	(15分)	食べる				
~ 13:10	(15分)	片付け・手洗い				
~ 13:25	(15分)	清 掃				
~ 13:35	(10分)	帰りの会				

R2. 手洗い15分時程

6/25(木)
~ 6/26(金)

		月	火	水	木	金
8:10~	(15分)	朝のあいさつ・健康観察				
8:25~	(15分)	PUT				
8:40~	(10分)	朝の会				
8:50~ 9:30	(40分)	1	1	1	1	1
9:35~10:15	(40分)	2	2	2	2	2
~10:30	(15分)	業 間				
~10:45	(15分)	手洗い				
10:45~11:25	(40分)	3	3	3	3	3
11:30~12:10	(40分)	4	4	4	4	4
~12:40	(30分)	手洗い・給食準備				
~12:55	(15分)	食べる				
~13:10	(15分)	片付け・手洗い				
~13:25	(15分)	清 掃				
~13:40	(15分)	昼休み				
~13:55	(15分)	手洗い				
13:55~14:35	(40分)	5	5	5	5	5
~14:45	(10分)	帰りの会				

R2. 手洗い15分時程

6/15(月)
~ 6/26(金)

		月	火	水	木	金
8:10~	(15分)	朝のあいさつ・健康観察				
8:25~	(15分)	PUT				
8:40~	(10分)	朝の会				
8:50~ 9:30	(40分)	1	1	1	1	1
9:35~10:15	(40分)	2	2	2	2	2
~10:30	(15分)	業 間				
~10:45	(15分)	手洗い				
10:45~11:25	(40分)	3	3	3	3	3
11:30~12:10	(40分)	4	4	4	4	4
~12:40	(30分)	手洗い・給食準備				
~12:55	(15分)	食べる				
~13:10	(15分)	片付け・手洗い				
~13:25	(15分)	清 掃				
~13:40	(15分)	昼休み				
~13:55	(15分)	手洗い				
13:55~14:35	(40分)	5	5	5	5	5
14:40~15:20	(40分)	~14:45 帰りの会	~14:45 帰りの会	~14:45 帰りの会	6	~14:45 帰りの会
~15:30	(10分)				帰りの会	

R2. 手洗い15分時程

6/15(月)
~6/26(金)

		月	火	水	木	金
8:10~	(15分)	朝のあいさつ・健康観察				
8:25~	(15分)	PUT				
8:40~	(10分)	朝の会				
8:50~ 9:30	(40分)	1	1	1	1	1
9:35~10:15	(40分)	2	2	2	2	2
~10:30	(15分)	業 間				
~10:45	(15分)	手洗い				
10:45~11:25	(40分)	3	3	3	3	3
11:30~12:10	(40分)	4	4	4	4	4
~12:40	(30分)	手洗い・給食準備				
~12:55	(15分)	食べる				
~13:10	(15分)	片付け・手洗い				
~13:25	(15分)	清 掃				
~13:40	(15分)	昼休み				
~13:55	(15分)	手洗い				
13:55~14:35	(40分)	5	5	5	5	5
14:40~15:20	(40分)	~14:45 帰りの会	6	~14:45 帰りの会	6	~14:45 帰りの会
~15:30	(10分)		帰りの会		帰りの会	

R2. 手洗い15分時程

6/15(月)
~ 6/26(金)

		月	火	水	木	金
8:10~	(15分)	朝のあいさつ・健康観察				
8:25~	(15分)	PUT				
8:40~	(10分)	朝の会				
8:50~ 9:30	(40分)	1	1	1	1	1
9:35~ 10:15	(40分)	2	2	2	2	2
~ 10:30	(15分)	業 間				
~ 10:45	(15分)	手洗い				
10:45~ 11:25	(40分)	3	3	3	3	3
11:30~ 12:10	(40分)	4	4	4	4	4
~ 12:40	(30分)	手洗い・給食準備				
~ 12:55	(15分)	食べる				
~ 13:10	(15分)	片付け・手洗い				
~ 13:25	(15分)	清 掃				
~ 13:40	(15分)	昼休み				
~ 13:55	(15分)	手洗い				
13:55~ 14:35	(40分)	5	5	5	5	5
14:40~ 15:20	(40分)	~14:45 帰りの会	6	6	6	6
~ 15:30	(10分)		帰りの会			

水曜日が5校時限の場合は、下校時刻は月曜日に同じ。

R2. 手洗い15分時程

6/15(月)
~6/26(金)

		月	火	水	木	金
8:10~	(15分)	朝のあいさつ・健康観察				
8:25~	(15分)	PUT				
8:40~	(10分)	朝の会				
8:50~ 9:30	(40分)	1	1	1	1	1
9:35~10:15	(40分)	2	2	2	2	2
~10:30	(15分)	業 間				
~10:45	(15分)	手洗い				
10:45~11:25	(40分)	3	3	3	3	3
11:30~12:10	(40分)	4	4	4	4	4
~12:40	(30分)	手洗い・給食準備				
~12:55	(15分)	食べる				
~13:10	(15分)	片付け・手洗い				
~13:25	(15分)	清 掃				
~13:40	(15分)	昼休み				
~13:55	(15分)	手洗い				
13:55~14:35	(40分)	5	5	5	5	5
14:40~15:20	(40分)	~14:45 帰りの会	6	6	6	6
~15:30	(10分)		帰りの会			

R2. 手洗い15分時程

6/15(月)
~6/26(金)

		月	火	水	木	金
8:10~	(15分)	朝のあいさつ・健康観察				
8:25~	(15分)	PUT				
8:40~	(10分)	朝の会				
8:50~ 9:30	(40分)	1	1	1	1	1
9:35~10:15	(40分)	2	2	2	2	2
~10:30	(15分)	業 間				
~10:45	(15分)	手洗い				
10:45~11:25	(40分)	3	3	3	3	3
11:30~12:10	(40分)	4	4	4	4	4
~12:40	(30分)	手洗い・給食準備				
~12:55	(15分)	食べる				
~13:10	(15分)	片付け・手洗い				
~13:25	(15分)	清 掃				
~13:40	(15分)	昼休み				
~13:55	(15分)	手洗い				
13:55~14:35	(40分)	5	5	5	5	5
14:40~15:20	(40分)	6	6	6	6	6
~15:30	(10分)	帰りの会				

清掃時間・5校時限始まりをそろえようver.

R.2限定 特別時程 (40分授業)

1～3年, 4-4

6/29(月)～8/28(金)
サマータイム期間は除く

		月	火	水	木	金
8:10～	(10分)	朝のあいさつ・健康観察・朝の会				
8:20～	(15分)	PUT				
8:35～9:15	(40分)	1	1	1	1	1
9:25～10:05	(40分)	2	2	2	2	2
～10:25	(20分)	業 間				
～10:35	(10分)	手洗い				
10:35～11:15	(40分)	3	3	3	3	3
11:25～12:05	(40分)	4	4	4	4	4
～12:30	(25分)	手洗い・給食準備				
～12:45	(15分)	食べる				
～12:55	(10分)	片付け・手洗い				
～13:10	(15分)	清 掃・手洗い				
～13:30	(20分)	昼休み				
～13:40	(10分)	手洗い				
13:40～14:20	(40分)	5	5	5	5	5
～14:30	(10分)	帰りの会・下校				

※ 6校時目は右表と同じ(14:30～15:10, 下校～15:20)。

清掃時間・5校時限始まりをそろえようver.

5～6年, 4-1, 4-2, 4-3

6/29(月)～8/28(金)
サマータイム期間は除く

		月	火	水	木	金
8:10～	(10分)	朝のあいさつ・健康観察・朝の会				
8:20～	(15分)	PUT				
8:35～ 9:15	(40分)	1	1	1	1	1
9:25～10:05	(40分)	2	2	2	2	2
10:15～10:55	(40分)	3	3	3	3	3
～11:15	(20分)	業 間				
～11:25	(10分)	手洗い				
11:25～12:05	(40分)	4	4	4	4	4
～12:30	(25分)	手洗い・給食準備				
～12:45	(15分)	食べる				
～12:55	(10分)	片付け・手洗い				
～13:10	(15分)	清掃・手洗い				
～13:30	(20分)	昼休み				
～13:40	(10分)	手洗い				
13:40～14:20	(40分)	5	5	5	5	5
14:30～15:10	(40分)	6	6	6	6	6
～15:20	(10分)	帰りの会・下校				

※ 5校時限の下校は左表に同じ(～14:30)。

※「R2.手洗い15分時程」は「～8/28（金）」
となっておりますが、7/21(火)～8/25（火）の
期間は「小野小サマータイム」が入ります。

（次頁参照）



小野小サマータイム

7/21 (火)
~8/25(火)

		月	火	水	木	金
8:00	(10分)	朝のあいさつ・健康観察				
		朝の会				
8:10 ~ 8:50	(40分)	1	1	1	1	1
8:55 ~ 9:35	(40分)	2	2	2	2	2
	(20分)	業 間・手洗い				清掃 手洗い トイレ 休けい
9:55 ~10:35	(40分)	3	3	3	3	3
10:40 ~11:20	(40分)	4	4	4	4	4
11:25 ~12:05	(40分)	5	5	5	5	5
~12:15	(10分)	帰りの会				

R2. 金曜時程

8 / 28 ~
毎週金曜日

		1年	2年	3年
8:00~	(10分)	朝のあいさつ・健康観察		
8:10~	(10分)	PUT		
8:20~	(10分)	朝の会		
8:30~ 9:10	(40分)	1	1	1
9:15~9:55	(40分)	2	2	2
~10:10	(15分)	業 間		
~10:20	(10分)	手洗い		
10:20~11:00	(40分)	3	3	3
11:05~11:45	(40分)	4	4	4
~12:10	(25分)	手洗い・給食準備		
~12:25	(15分)	食べる		
~12:35	(10分)	片付け・手洗い		
~12:50	(15分)	清 掃		
~13:05	(15分)	昼休み		
~13:15	(10分)	手洗い		
13:15~13:55	(40分)	5	5	5
		~14:05 帰りの会		

R2. 金曜時程

8 / 2 8 ~ 毎週金曜日

		4年	5年	6年	クラブ・ 委員会の ある日の 該当学年		
8:00~	(10分)	朝のあいさつ・健康観察				8:00~	(10分)
8:10~	(10分)	P U T				8:10~	(10分)
8:20~	(10分)	朝の会				8:20~	(10分)
8:30~ 9:10	(40分)	1	1	1	1	8:30~ 9:10	(40分)
9:15~9:55	(40分)	2	2	2	2	9:15~9:55	(40分)
~10:10	(15分)	業 間				~10:10	(15分)
~10:20	(10分)	手洗い				~10:20	(10分)
10:20~11:00	(40分)	3	3	3	3	10:20~11:00	(40分)
11:05~11:45	(40分)	4	4	4	4	11:05~11:45	(40分)
~12:10	(25分)	手洗い・給食準備				~12:10	(25分)
~12:25	(15分)	食べる				~12:25	(15分)
~12:35	(10分)	片付け・手洗い				~12:35	(10分)
~12:50	(15分)					~12:50	(15分)
~13:05	(15分)	昼休み				~13:05	(15分)
~13:15	(10分)	手洗い				~13:15	(10分)
13:15~13:55	(40分)	5	5	5	5	13:15~13:55	(40分)
14:00~14:40	(40分)	6	6	6	6	14:00~14:40	(40分)
(7校時) 14:45~15:25	(40分)	~14:50 帰りの会	7	7	~14:50 帰りの会	(7校時) 14:45~15:25	(40分)
(ク・委) 14:55~15:35	(40分)	(ク)	~15:35 帰りの会		委/ク	(ク・委) 14:55~15:35	(40分)

授業改善（40分授業）を導入するにあたって（案）

1 教師の構え

○本時のめあて（目標）を明確にしましょう。

1時間の授業には、必ず「到達目標」があります。その目標を明確にすると同時に、どのようにしてその目標に迫るか、手だてを具体化してみましょう。

○「あれもこれも」から「あれかこれか」へ（指導内容の精選）

教材研究すればするほど、「教えたこと」がたくさん出てきます。でも、実際に授業でできることはそんなに多くありません。思い切って捨てる勇気を持ちましょう。そして、教えたことを子供の学びたいことに変えましょう。

○「発問」と「指示」を明確にする

発問は授業の命です。子供の思考を刺激する発問を1時間に1つ、考えましょう。また、子供への指示は明確に行いましょう。

○1分の沈黙は、2分の問いかけより子どもの思考を促す（「あきたのそこじから」より）
子供の主体的な姿が見られるのが「沈黙」ではないでしょうか。

○座席表を活用する

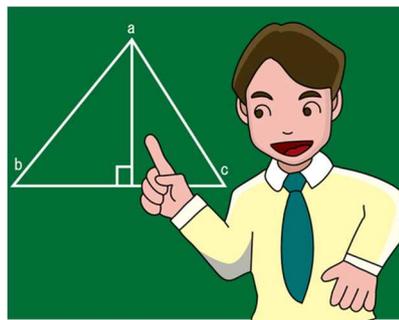
本校のような大規模校では、座席表は必須のアイテムです。授業中の子供の学習の様子を記録しておくことで、評価にも十分に生かすことができます。

2 子供たちと約束を作りましょう

○支持的な風土の中で授業を進めることができるように
授業での約束を繰り返し教えましょう。

- ・指名されたら「はいっ。」と返事をする
- ・話し手の目を見て聞く。
- ・どんな意見も否定しない（共感的に受け止める）

※オンラインや在宅学習では味わえない「友達と一緒に学ぶこと」が学校の最大の魅力です。そのためには、授業での約束を示しましょう。



小野小学校には、これまでの研究の財産（「小野小学び・生活のスタンダード」「虎の巻」等）がたくさん残っています。これらの財産を活用して

- ・全校で統一すること
- ・学年や学級で統一すること

この機会に子供たちと一緒に確認しましょう。

3 授業での留意事項

※あくまでも例です。学年の発達段階に応じて、指導しましょう。

ノーチャイムですので子供が時計を見て行動できたり、自分で考えて行動できたりする力を育てましょう。

場 面	子 供	教 師
<p>休み時間</p> 	<p><input type="checkbox"/> 次の授業の準備をしてから、休み時間に入ります。</p> <p><input type="checkbox"/> 机の上には、教科書、ノート、筆記用具などを決められた場所に置きます。</p> <p>※特別教室や体育など教室以外で授業を受けるときは、決められた時刻までに、静かに移動して集まります。</p> <p>※トイレ、手洗い、うがいなどをしっかり行います。</p>	<p><input type="checkbox"/> 子供たちが余裕をもって授業に参加できるように見守りましょう。</p> <p>【授業を開始する前に】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレは済ませたか ・うがいや手洗いは済ませたか ・授業の準備はできているか <p>一人一人の様子を観察し、先生も心に余裕をもって授業をはじめましょう。</p>
<p>授業での約束</p> 	<p><input type="checkbox"/> 常に話し手の目を見て、最後まで話を聞きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 手を挙げる時は黙って、まっすぐに手を挙げます。</p> <p><input type="checkbox"/> マスクをしていますが、自分の意見は最後まではっきり話します。</p> <p><input type="checkbox"/> 先生が板書したことは、先生と同じ速さでノートに書きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 友だちの意見は共感的に受け止め、自分の考えと違って、否定したり、非難したりしません。</p>	<p><input type="checkbox"/> 授業の目標やねらいを明確にします。</p> <p><input type="checkbox"/> 教科のねらいや特質に応じた授業の進め方を考えましょう。</p> <p>(例)</p> <p>■探求的な授業のアプローチ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学習の見通しをもつ ② 自分の考えをもつ ③ 集団で話合う ④ 学習の内容や方法を振り返る <p>■問題解決的な学習のアプローチ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学習課題を設定する ② 自己解決 ③ 集団解決 ④ まとめ・振り返り
<p>授業後</p>	<p><input type="checkbox"/> その時間に使ったものをきちんと片付けてから休み時間にします。</p>	



教頭より



小野小学校
令和2年6月3日

【保護者からの問合せについて】

○子供会の資源回収を行っていいかどうか？

学校が決めることではないのですが、子供会の資源回収担当者の方から相談がありました。子供会の活動は6月いっぱい自粛しているのですが、7月上旬に予定している資源回収を行っていいのが役員同士で悩んでいるとのことでした。学校での取組について説明し、参考にしてくださいと話しました。

- ①現在、学校での新しい生活様式を指導しています。(3密を防ぐ、手洗いの徹底、マスク着用等)
- ②異学年での交流は、しばらく(1学期中)は行わない。クラブ活動、委員会活動についても同様。ただし、集合しなくても実施可能な活動は段階的に取組をしていきます。
- ③全校や学年全体での集会はしばらく(期間は未定)行わない。
- ④感染防止対策をとりながら(3密を防ぐ、回収方法を工夫する等)、実施することについては、特に規制はありません。実施の必要度が低いのであれば、1学期は見合わせるのよいのではないのでしょうか。

★「学校での取組を参考にしながら、役員で話し合ってみます」とのことでした。

【感染症の予防(教師用)、「学校の新しい生活様式」】

感染症の予防(文科省:令和2年4月配付済み)

○実際の授業や教育活動の場面で、教師自身が気を付けること

- ①マスクを着用する。(必要に応じてフェイスシールドも着用)
- ②飛沫感染防止用の衝立(例:ことばの教室・理科室・図書室)を使用する。
- ③大声で話さない、大声で指導しない。マスクは完全ではありません。授業が始まって先生方の声だけが廊下に響いていることがあります。子供はマスクをしているので、大声は出しません。先生方は逆に熱が入ってくると大声になります。聞こえなければ、ハンドサインやボードなどを使って指導してください。先生同士が向かい合って近距離で会話することや大声でのやり取り等はしないでください。先生方が感染症拡大防止に注意していることを子供たちにしっかりと示してください。
- ④授業中以外の子供たちの密に注意!実際の場所を使ったり、場面を想定したりして、具体的な距離がイメージ(認識)できるように指導しましょう。廊下や外で意外と密接になっています。
- ⑤机間指導やTT指導をどう行えばよいか?距離を保ちながら指導するのは、至難の業ですが、それでも支援を待っている児童がいます。マスクをしていても微量の飛沫は拡散します。1メートルの距離または、無言での指導(指さしや小型ボードを使用)、小声での同方向を向いた指導等で対応してみてください。
- ⑥挨拶は、聞こえる程度の声でOK。むしろ、無言でお辞儀をしたり、ハンドサインの活用を。「始めます。(礼)」「無言で(礼)」など。

【学校として、学年として】

小野小には、小野小学びのスタンダードがあります。コロナ禍でも実践可能なこと、ちょっと控えた方がよいことなどがあると思います。小野小の最大の強みは先生方のチームワークです。学校・学年で共通理解をしながら、全職員で共通行動を取っていきましょう。子供からの質問や願いは即答せず(内容にもよりますが)、これはどうなんだろう?と思ったらまずは、学年で話題にしてみましよう。一過性の指導や間違った認識は後で大きな問題に発展したりします。

【身体測定、視力検査について】

できれば、午前・午後登校をしている期間で実施したいと考えています。1単位時間1学年での実施ではどうでしょうか?1クラス10分程度でできるとよいのですが・・・。



教頭より



小野小学校
令和2年6月4日

【感染症予防のために「学校の新しい生活様式」】

◇小野小「声のものさし」編（案）◇

	通常時の目安	コロナ禍での児童の「声のものさし」目安
0	心の中で	0～1の間に、唇読みや小声読みが入るのかも……。
1	隣の人と	発表時の声の大きさは1または2
2	グループの人と	児童の発表は、教室全体に聞こえなくてもよい。
3	教室全体に	基本的には、ダイヤルは「2」まで。緊急時や非常時は、3以上も。
4	広い場所1（体育館）	× 必要ならマイクを使用。
5	広い場所2（校庭）	× 必要ならマイクを使用。



【児童】

○朝の挨拶や帰りの挨拶は、屋内では、相手に聞こえる程度の声「1」で。屋外では「2」も可。

○健康観察や返事は、ハンドサインを加えながら「1」で。手を挙げて「はい。元気です。」「はい。のどが痛いです。」など。

○授業中の発表は、「1」か「2」で。聞き取れない場合は、先生がフォロー。



掲示資料は研究部が作成し、各教室に配付してくれます。

【職員】

- 先生方の一斉指導は教室内は「2」または「3」で。校庭や体育館は「3」で。必要ならマイクを使う。参観をさせていただいた時の先生方の声は、十分に後ろの席の児童にも届いています。また、子供たちは、しっかりと先生の話聞いています。しっかりと目をつないでいれば大丈夫！広い場所では、ハンドサインも加えながら、大きな声で指示や指導をしなくてもよい方法を考えましょう。
- 別紙資料も参考にしてみてください。（兵庫県公立小学校主幹教諭・佐藤隆史先生執筆）

【教科書展示会について】

現在、教育事務所管内で調整中とのこと。指定日が決まりましたら改めて、割当をしたいと思えます。予定では、6月12日～7月31日の期間中2週間を割り当てられるそうです。

【クールビズについて】

本格的な夏を前に小野小でもクールビズでの勤務になりました。出張の際は、男性職員は一応ネクタイを持参してください。研修会や会議によっては、ノーネクタイの指示がありますが、念のため持参することをお願いします。

学校での勤務は、活動に合わせた服装でかまいませんが、通勤時は、社会一般的な常識の範囲での服装をお願いいたします。また、自動車の運転は、運転者の遵守事項として、「下駄その他運転操作の妨げになる履き物をはいて、自動車または原動機付自転車を運転しないこと」と定められています。つまり、かかとが固定される靴をはいていないと「安全運転義務違反」になる可能性があります。

【安全運転義務違反が適応された場合】

サンダルでの運転やかかとの固定されていないクロックスでの運転などをして安全運転義務違反が適用された場合には、減点と車の種類に応じた罰金が科されます。

違反点数：2点

罰金：大型車（12,000円）、普通車（9,000円）、二輪車（7,000円）、

小型特殊者・原動機付自転車（6,000円）

同じように、学校でもいざというときに瞬時に対応（行動）できるように、かかとが固定できる履き物をはくようにお願いいたします。

【登下校・校舎内での歩き方（間隔や会話）について】



学校での3密を避ける、大きな声で話さない、マスク着用、手洗い・消毒の徹底など「新しい生活様式」が、日常生活の中でも生かされるとよいと思います。登下校（特に下校時）での信号待ちでの密集・密接は20秒～30秒程度ですが、仲の良い友達と2人、3人と横並びになり、楽しそうに話をしながら登下校する時間は、意外と長いと思われる。社会的な取組からすれば、前後を1メートル（屋外）空ける必要があり、登下校の際の光景を見ていると不安を感じます。600人の児童が同じ方面に下校

する際、単純に1人1mで600m必要になります。しかもその姿は異様に見えるのではないかと思います。何かよい方法（安全で、ストレスの負荷が小さい）がないかと思います。

※一緒に帰るが、おしゃべりはしない（小声で）。前後の間隔は、できるだけ1m以上を意識する。

そこで、下校時間をずらしたり、傘をかぶって登下校したりしては？と思います。しかし、廊下や教室内での距離感をどこまで指導したらよいのか。なんとも難しい課題です。

【初任研（1年目）（3年目）5年研，中堅研について】

初任研1年目の事務所研修がいよいよ始まります。後補充の加配がまだ決まっていますが、今いる先生方で、しっかりサポートしていく体制をとりますから安心して研修に臨んでください。

初年研3年目の先生方が希望した研修は中止となっています。今後開催される、指定校研究会を探してください。

5年研に参加の先生方に研修会中止のお知らせと代替レポートの要項をお渡ししました。内容を確認し令和3年1月20日までに起案してください。

中堅研については、今のところ新しいお知らせはありません。

日々の授業をどうするか？

小野小の校内研究や日々の授業のヒントを探していたら、こんなページを見付けました。学年、学年部、学校全体で、雑談しながらちよこっと話し合ってみるのもよいかもかもしれませんね。

音読指導どうする？ウイズコロナの国語授業のつくり方

執筆／兵庫県公立小学校主幹教諭・佐藤隆史

新型コロナ対策で、音読や交流活動に制限がある中、国語の授業をどのようにつくるべきか？ 長年音読活動を重視して教育を行ってきた佐藤隆史先生が、このコロナ禍の中でできないことや、子供にとってストレスがかかることは潔く諦め、それでもピンチをチャンスに変えるための授業アイデアを提案します。

◇目次◇

- 1 制限された中で何ができるか
- 2 「価値」は担保し手段を変える
- 3 音読指導・音読活動に関して
- 4 音読指導は教師の範読で！
- 5 「なんとかなるから、大丈夫！」と大きく構えて

【1 制限された中で何ができるか】

学校の休校措置が解かれ、学校再開が決まっても、新型コロナ感染予防を踏まえた学習活動を考えていかねばならないのが今の情勢です。

国語（に限らず、全教科）で音読活動を継続して展開し、子供たちの資質・能力を育てることを積み重ねてきた私にとって、3密を避けて制限された中で音読活動をどうするのかは緊迫の課題です。

教室での音読活動で大切にしたいのは次の二つです。

◆音読表現の多彩な交流活動

◆声を出し、声を作っていくこと

現状ではこの大切な二つのことを実現させるのは難しい情勢です。でも、このような中、全ての子供たちの安全は守りつつ、学力を着実につけていくための方略を考えていく必要があります。

【2 「価値」は担保し手段を変える】

交流活動は「書く」をベースに

「交流すること」の価値を今一度見直してみましよう。

◆自分の考えとは違った意見や感想や疑問を知ることができる

◆人に言語化してアウトプットすることができる

他にもたくさん価値としてあげられますが、今はこの二点について考えていきましょう。

3密を避けて交流活動を組むには、「書く」ことをベースにしていくのがよいでしょう。思考して考えたことを「ノートに」「ふせんに」「ホワイトボードに」「黒板に」書くのです。

そして、普段ならば顔を寄せ合って、ノートやホワイトボードを間に置いて対話し、交流していたところですが、3密を避けるためには、「見て回る」「掲示する」「読んであげる」「みんなて聞く」ことを機能させていくべきです。

アイデア1

考えを書いたノートを机に広げておく → 全員で順送りで見回る

この時、ふせんを手を持って、気づいたことや、自分の考えに付け加えることなどをメモしながら回るとよいでしょう。・ POINT

アイデア2

ホワイトボードに考えを書いたら黒板に掲示していく → それを子供たちが見たり、教師が読んだりするグループで回しながら書いていくのは今の情勢では避けなくてはいけないかもしれません。要は「離れて」

「個別に」表現させて、それでいて考えの共有を実現させるためのアイデアを考えるのです。より安全で、少しでも交流することの価値を担保する仕掛けを考えることが今の私たちがしなければならないことです。声を出すのは教師と発表する子供だけと割り切る

数名の「発表係」が日替わりで発言

「声を出す」ことの価値とはなんでしょう。声にはとても多くの「情報」が含まれています。声に出すことでより一層伝わりやすくなりますし、「ニュアンス」というものが聞き手（受け手）の脳と心に訴えかけます。それが今後は制限されるわけですから、授業はとてよりにくくなりますね。

でも、声を出せないなら「諦める」ことも肝心です。どうにもならないのですから、音声表現活動はこのコロナ時代が収束するまでは控えていくしかありません。腹をくくって、声を出すのは教師と、発表する一部の子供だけと割り切っていきましょう。

ただ、毎日決まった子供だけが「発表者」になるのは避け、順番を決めておいたりするとよいでしょう。1日に3人と決めて、その3人が全員と距離を取りながら話をする「係」になるのです。

「今日は〇〇さんをフィーチャーします！ 〇〇さん！ どーぞー！」

と紹介して、いろんな活動を組んでいくのです。それに先ほどの「書く」活動をふんだんに取り入れて授業づくりをしていきます。

○マスク越しに「唇読み」を

音読活動では、マスク越しに音読をするというのも変な話ではあります。でも、ただ黙って黙読のみだと、読解するのに困る子供もいるに違いないのです。そこで、「唇読み」をやってみましょう。唇を動かして小さな声で読むのです。

表現のパフォーマンスを問うような活動は一切できない情勢ですから、それは諦めて、「情景を思い浮かべるための音読」「登場人物の気持ちを理解するための音読」を唇読みで実現させるのです。

このとき教師は

「この場面の様子を頭の中に思い浮かべながら唇だけで音読してみましょう。大きな声は出さなくて小さな声でいいですよ」

と言ってあげるといいでしょう。子供たちのマスクが小さく動いているはずです。

「皆さんのマスク越しに唇が動いているのがよく分かりますよ」

と評価します。

○ペアやグループ活動は「筆談」を駆使

ペアでの対話活動や、グループ活動など音声を伴うものは、この際スパッと諦めて、音声言語を使わない「筆談」を駆使して交流させていきましょう。

友達のノートを見て、それについてコメントを「書き込む」「ふせんに書いて貼る」ことは効果的な交流活動になります。他人のノートに「触れる」ことになり、書いたものを「見せる」、それを「書き取る」ことで対話ができない部分をカバーしていきましょう。

【3 音読指導・音読活動に関して】

「唇読み」について紹介しましたが、子供たちはマスク着用のためにとてもストレスがかかります。低学年の子供たちは知らぬ間にマスクを外してしまったり、片方耳にかけているだけということもあります。

注意ばかりしてしまいがちになることでしょう。息抜きや、ガス抜きのような楽しいミニゲームを挟んだりすることは必定のことになるでしょう。

◆声が届かない→声が届かなくても構わない。今はそのようなことにこだわっている時期ではない！

◆口形がわからない → 今は口形指導は諦めよう！

◆長い文章の音読は苦痛を伴う → 短い文章で止めておこう！

マスクを長時間つけたままでの学習のハンディキャップについて、無理をして克服することをやめて、できな

いことや苦痛を伴うこと、ストレスになるような活動は一切やめてしまうのです。

でき得ることで一番大切なことだけを「精選」することが今、私たち教師が考えなくてはいけないことではないでしょうか。

【4 音読指導は教師の範読で！】

○心を込めて子供たちに音読を

- ・みんなで声を合わせて音読ができない。
- ・向かい合ってペアで音読活動ができない。
- ・グループで音読しながら音読の工夫を考えることはできない。

「できない」ことばかりです。このような中でできることは教師が精いっぱい「範読」（見本の音読）を子供たちに聞かせてあげることです。

その「範読」はただ決まりきった「あたりまえ」の音読でも子供たちは喜んで聞いてくれます。新しい担任の先生が心をこめて表現する音読を黙って聞かない子供たちなど、そうはいません（もし、いるなら音読などしている場合ではありません。その子供とのつながり、信頼関係、心のパイプをつなぐことが必要な段階です）。

○「音読カード+はんこ」に頼らない！

毎回、自分の人生の中での一世一代の渾身の音読をしてあげるので。すると、どうなると思いますか？

子供たちは家に帰って自分で音読をするでしょう。決して「家に帰って、2回先生の読んだように音読するのが宿題です！ 読んだらお家の人のはんこを忘れずに音読カードに押してもらいなさい！」なんてことを要求してはだめです。

音読指導は責任をもって学校で、教室で、教師がやるものです。家庭任せではいけません。はんこなんて、子供たちは自分で押してくるのです。そんなものです。学校で、素敵な、大好きな先生が読んでくれた音読は、きっと子供の心に残ります。机に向かって教科書を開き、音読したくなる気持ちにさせてくれるでしょう。そんな音読を私たち教師がしてあげるのが「仕事」なのです。学校で指導することを放棄して、家庭に「子供の音読を聞いて、はんこを（証拠として）押してください」なんてことは、本来はすべきではありません。

○ピンチをチャンスに

子供たちが自らお家の人に「ねえ！ 今日こんな音読を学校で勉強してきたから、聞いてくれる？」と言って、頭の中で教室で読んでくれた先生の音読を思い出しながら音読をする。聞いてくれたお家の人は「へえ～！ そんなふうで学校で習ってきたんだね！」と、笑顔でわが子の音読力の向上を喜ぶ。

子供は目の前で聞いてくれた家族の喜んだ顔に、満足し、達成感を感じ、そしてまた練習を自ら積み重ねていける。このような力をつけてやるべきではないでしょうか。

制限された今だからこそ、子供たちに「今から先生の精一杯の音読をしてみるから、みんな、聞いてくれる？」と自分の音読をきいてもらう。こうして教師の音読力は高まっていくのです。ピンチはまさに「チャンス」なのです。

【5 「なんとかなるから、大丈夫！」と大きく構えて】

長い人生、いろんなことが待ち受けています。こんな時もあるのです。子供たちの前に立って導いていく我々教師は、慌てたり、オロオロしてしまってはダメです。「大丈夫さ！」「人生いろんなことがあるのです！」と、ドーンと大きく構えて、ニコニコ笑顔で子供たちを安心させてあげるべきではないでしょうか。

職員室では、「何を捨て、何をやっていくのか」についてしっかりと全員で共通理解を深め、いったん教室に入ったら、不安や心配などみじんも感じさせないくらいの「器の大きい」教師に変身して（それは虚勢でもいいので）子供たちに安心感を与えてあげるのが一番だと私は思っています。

新型コロナウイルスによるいじめを防止するために

小野小学校 人権教育担当

新型コロナウイルス感染症という病気がはやっています。

この病気について、間違った情報を聞いて、差別やいじめで、だれかを傷付けることがあってはいけません。自分で何が正しい情報なのか、よく考えて行動しましょう。

そのためにも、次のことについて意識して生活していきましょう。

- みんなが安心して過ごすことができるように、おうちの人や学校の先生方も、地域の方もみんなの健康と安全を守っています。
もしも、不安なことや心配なことがあったら、信頼している大人に相談してください。
- 誰もがコロナウイルスに感染するわけではありません。学校や健康に関わる公的機関は、できるだけ病気になる人が少なくなるように、とても気を付けています。
- 全ての人がお互いを大切にし、誰がコロナウイルスに感染しているか、いないか、といった決めつけをせずにすることが大切です。(たとえば、アレルギーやぜんそくなどのようにだれかに感染しない場合でも、咳やくしゃみが出ることがあります。自分の思い込みや軽い気持ちでからかったりすることは、相手を傷付ける言動につながります。絶対にやめます。)
- 感染予防に努めていたとしても、感染することがあります。感染した人は病気で苦しい思いをします。苦しい思いをしている人を責めたり、避けたりすることは、いじめにつながります。相手の立場になり、行動するように心掛けましょう。
- 病気に感染することは、だれでも同じように怖いのです。おやみに恐れず、正しい知識や情報を知り、よく考えて行動することで、差別や偏見をなくすことができます。

みんなの心が差別やいじめという悲しい病に感染することがないように先生たちは心から願っています。

